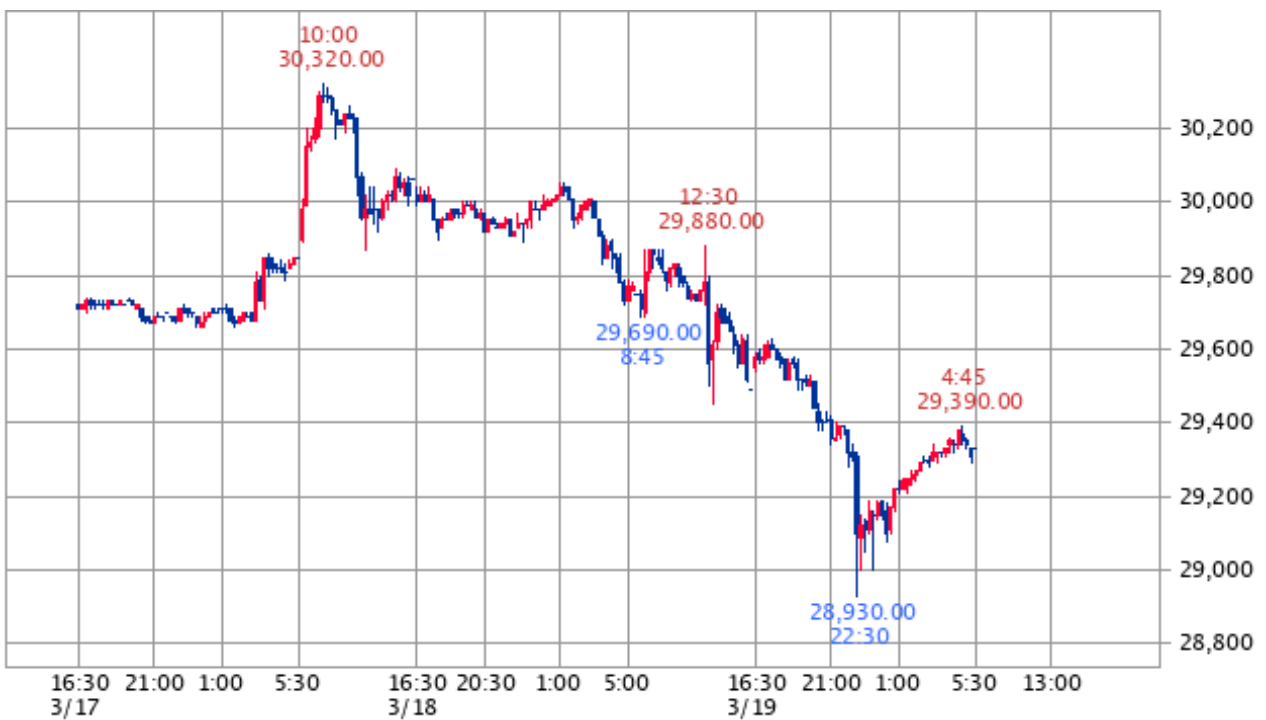


① 日経平均

- ⇒ 海外における日経平均先物価格は、先週末に 29300 円前後でどれも終了しています
- ⇒ 先週末比約 500 円安です
- ⇒ 本日の株式マーケットは、「日経平均売り・TOPIX 買い」になると予想されます
- ⇒ 3月19日(金)12時頃に日銀から発表されたばかりですので、世界の機関投資家やヘッジファンドはまだほとんど対応できていないと思われます
- ⇒ 少し時間をかけて日経平均は大きく下がるのではないのでしょうか

【日経平均先物:3日間】



② 為替

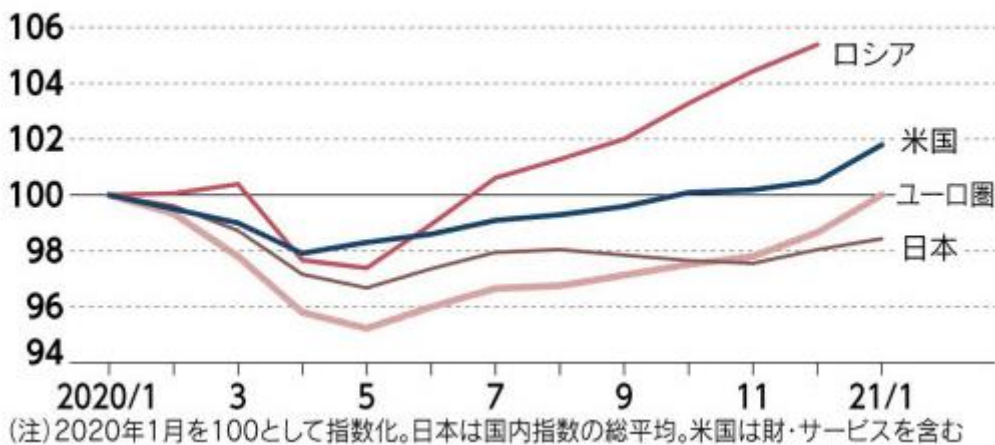
- ⇒ 本日早朝から円の全面高となっています
- ⇒ いわゆるリスク回避の円高のようです
- ⇒ 日米を中心にした株価動向が気になります



③ 企業物価

- ⇒ 日米欧などの企業物価指数や生産者物価指数をみると、昨年秋から今冬にかけての上昇率は日本と英国が約 1%、米国やドイツが 2%、ロシアが約 3%、フランスは 4%近くに達する
- ⇒ 米独ロ仏はコロナ禍が本格化する直前の昨年 1 月の水準を上回った
- ⇒ 異例の上昇の主因は資源高にある
- ⇒ 金属も高騰している
- ⇒ 銅の国際価格は約 9 年半ぶりの高値圏にあり、自動車の排ガス浄化触媒に使う白金族ロジウムも最高値を更新
- ⇒ 鉄鉱石の上昇は鉄鋼の市況を押し上げている
- ⇒ 「寒波に伴うテキサス州の停電で半導体や石油・化学のプラントが止まり、素材の品薄感が強まっている」(SMBC 日興証券)
- ⇒ 限られた素材を取り合うかのように製造業の仕入れコストは上昇した
- ⇒ 「想定以上の物価高で金融市場が動揺するリスクがある」(ニッセイ基礎研究所)

企業物価は昨秋から上昇が加速

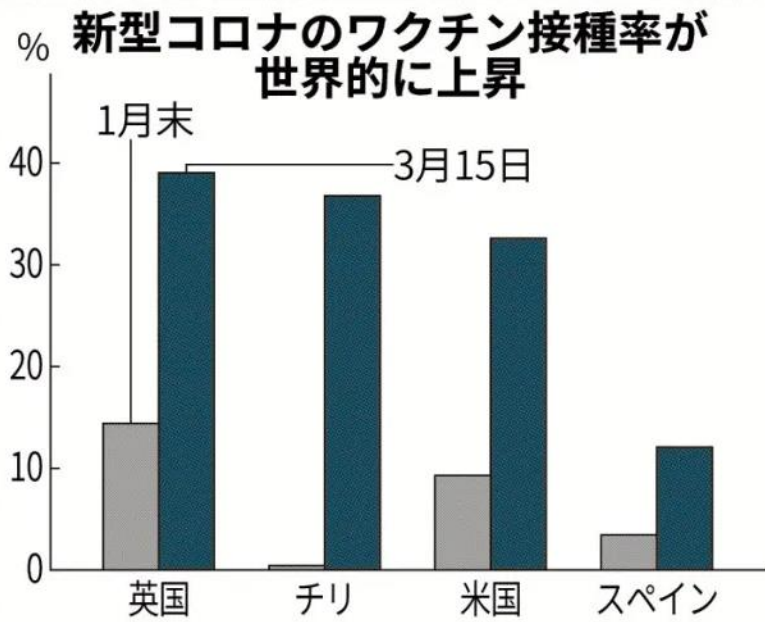


製造業の在庫の不足感は10年ぶり水準



④ ワクチン接種率

- ⇒ ワクチン接種率は 15 日時点で英国は 39%、米国は 33%と、1 月末比でいずれも 25 ポイント前後上昇した
- ⇒ イスラエルではすでに 100%を超えた
- ⇒ 大陸欧州の接種率はまだ低いようです
- ⇒ 変異ウィルスによる感染者数拡大が止まりません



(出所)アワー・ワールド・イン・データ